

神崎市・ボークール市

友好姉妹都市提携30周年

アンドレ・ジャッピー氏救出90周年

1936年、パリー東京間の飛行に挑戦中だったフランス人冒険飛行家アンドレ・ジャッピー氏が脊振山に墜落し、脊振村民による救出活動をきっかけに神崎市とボークール市との交流が始まりました。1996年に旧脊振村とボークール市が友好姉妹都市提携を盟約し、合併後の神崎市でも継承しています。

2026年は神崎市とボークール市の友好姉妹都市提携30周年、アンドレ・ジャッピー氏救出90周年の記念の年となります。

また、ジャッピー氏が搭乗した飛行機を復元し、彼が達成できなかった佐賀ー東京間の飛行を実現させる「赤い翼プロジェクト」も進められています。



ジャッピー氏を搬送する脊振村民

アンドレ・ジャッピー記念碑

墜落を発見した脊振村の住民は、消防団とともに救出活動にあたり、重傷を負ったジャッピー氏を救助しました。住民の懸命な対応と牛島医師らの治療により、ジャッピー氏は一命を取り留めました。

旧脊振村住民による救出

1936



1996

友好姉妹都市提携へ



ボークール市入口にある「セフリーカンザキ」の表示板



本庁舎前の友好姉妹都市表示板

ジャッピー氏を題材とした本の出版や交流の機運の高まりをきっかけに、1996年に旧脊振村とボークール市は友好姉妹都市提携を盟約しました。日本には約1,900件の姉妹都市提携がありますが、人道的な出来事をきっかけとした両市のような提携は少ないといわれています。

2016

友好交流の再開と
記念式典



アメリカ同時多発テロ事件の発生等により一時途絶えていた交流は、2012年にボークール市長からの交流再開を望む親書をきっかけに再開しました。

2016年10月には、友好姉妹都市提携20周年とジャッピー氏救出80周年を記念して、神崎市で記念式典が開催されました。ボークール市代表团、ジャッピー家親族などが本市を訪れ、ジャッピー氏救出地訪問、住民交流、学校訪問などを通じて、両市の絆を深めました。

脊振小・中学校とボークール市の学校では、オンライン交流や手紙などを通じて交流を深めています。また、ジャッピー氏の搭乗機模型の共同制作にも取り組みました。

2023年には、コロナ禍で中断していた相互訪問が再開され、ボークール市代表団が神崎市を訪問。学校交流やジャッピー氏遭難地の訪問、煎茶体験、相撲見学などを通じて友好を深めました。



学校間交流と
相互訪問

2023

2026

友好交流の
節目を迎えて

2026年は、神崎市とボークール市の友好姉妹都市提携30周年、ジャッピー氏救出90周年の節目の年です。ボークール市で開催される記念行事に神崎市代表団が参加し、これまでの歩みを振り返りながら、未来に向けた新しい交流の第一歩を踏み出します。

2027~

赤い翼プロジェクト



ジャッピー氏の挑戦飛行を現代によみがえらせる「赤い翼プロジェクト」。現在、フランスでコードロン・シムーン機の復元が進み、日本での飛行実現を目指しています。神崎市もボークール市との縁を大切に、プロジェクトの成功を応援します。



コードロン・シムーン機の尾翼

ボークール市

フランス東部に位置する自然豊かなまちで、面積は4.95Km²、人口は約5,000人です。寒暖差の大きい気候で、特産品にはコンテチーズやジュラ地方のワインなどがあります。



冒険飛行家 アンドレ・ジャッピー

André Japy 1904~1974



1904年、フランス・ボークール市生まれ。自作の飛行機で世界各地への飛行に挑戦し「空の英雄」と呼ばれた冒険飛行家。

1936年、パリー東京間の懸賞飛行に挑戦中、東京まで約900kmの地点で悪天候に遭い脊振山に墜落・遭難しました。

